

持続可能社会実現プロジェクト —地域資源を活かして—

昨年、私はこのプロジェクトにおいてリーダーを務めました。私はオンライン授業のため議論が滞った際に iPad などの新規ツールを積極的に導入し議論を活発化させていきました。そして最終報告会では特別賞を受賞することができ、1つのプロジェクトを遂行するには多角的な視点からアプローチする大切さを学びました。その得られた経験や知識を後輩たちにアドバイスする立場になりたいと考え、TAとしてこのプロジェクト科目に参加させていただきました。

昨年と同様、一部オンラインでの実施となり対外的に活動しにくい中、履修生は小学生向けにイベントを実施したり、模型を設置したりと実に活発にプロジェクトを遂行していました。

1年間、TAをさせていただき1番やりがいを感じたことはオンライン授業で受け身であった履修生が次第に主体的に調べ知識を深め一緒に楽しく授業をしていくことができたことです。最後に、1年間TAをやらせていただいた先生方に大きな感謝を申し上げます。

SDGs世代に贈る！ 「こどもと社会をつなげるゲーム」デザイン

昨年、私はこのプロジェクトを履修しており、今年はSAという形で関わらせていただきました。今年も昨年同様、春学期から履修生を複数のチームに分けて、ゲーム作成を進めてきました。チームによっては、意見の相違から自分の提案するゲーム案が何度もボツになり、苦しみやもどかしさを味わった履修生もいたと思います。でも、諦めずに進めていこうという前向きな姿勢があり、とても素晴らしかったです。他のチームも、自分たちのゲームをよりよくするために悩み抜き、手が開けば別のチームの手伝いに動いていました。チームマネジメントの成功と失敗を身をもって経験できたのではないのでしょうか。履修生の皆さん、1年間本当にお疲れ様でした。